

災害の多い 2018 年、所沢市の防災、減災は！

【学校施設をはじめ危険なブロック塀・壁の取り壊しが完了】

大阪北部地震の影響で、痛ましい事故が起きた学校のブロック塀・壁ですが、所沢でも大きな地震が発生した場合には、やはり危険が生じてしまいます。大阪北部震災発生後の2日後の議会において石原たかしが緊急対応をいち早く要望したところ、市内の公共施設・学校施設において一斉点検が行われました。その結果、危険な個所は取り壊し工事を行い安全なフェンスへの再建築がされました。現在、学校のブロック塀・壁の危険個所の工事は全て完了しています。



ブロック塀からフェンスへと作り替えられた例

【河川氾濫監視カメラ設置！

河川の様子をパソコンやスマホから確認できます！

西日本豪雨や台風 21 号などの災害に続き、所沢市でも 10 月の台風 24 号では各所に街路樹の倒木や電柱の倒壊など爪痕を残しました。また一昨年の台風では所沢市内でも河川氾濫により浸水被害が広く発生しました。本年から埼玉県整備により所沢の河川を監視するカメラの設置が実現されました。昨今の気象災害では河川の氾濫も、またいつ発生してもおかしくありません。この河川氾濫カメラの画像は、リアルタイムで自宅のパソコンやスマートフォンから確認することができます。河川の危険な箇所には近づかない判断や、早めの避難の準備にご活用ください。(河川監視カメラ HP より引用)➤



所沢市 河川監視カメラ 検索

石原たかしプロフィール

- 1988 年 12 月 7 日生まれ (所沢生まれ所沢育ち)
- 私立マルハ幼稚園卒園
- 所沢市立中新井小学校 (現・中央小学校) 卒業
- 所沢市立美原中学校卒業
- 私立 狭山ヶ丘高等学校卒業
- 早稲田大学 社会科学部 (政治学ゼミ) 卒業
- 飯能信用金庫に勤務 (一般のご家庭や中小企業を担当)
- 所沢の未来に責任を果たすため立候補を決意 —
- 2015 年 4 月 所沢市議会議員選挙にて初当選(最年少！)

夫婦共働き、二児のパパとして奮闘中です！



柴山大臣とはこれからも強力にタッグを組んで連携します！



「未来への架け橋」

所沢市議会議員

石原たかし

現職市議会 最年少 29歳!

きちんと議会報告

2018 Vol.14

後援会事務所 〒359-1111 所沢市緑川1-5-7-506 電話/FAX 04-2925-1155
連絡所 〒359-1141 所沢市小手指1-42-6-3F
URL <http://t-ishihara.jp/> または [石原 たかし](#) 検索 発行: 石原たかし 討議資料

『未来への架け橋』、今日も全力疾走！

いつも、市議会議員 石原たかしの「きちんと議会報告」をお手に取っていただきありがとうございます。9 月、10 月議会の重要事項の報告とともに、石原たかしの政務活動についてお伝えしていきます。責任世代の市議会議員として『未来への架け橋』となれるよう毎日、全力で活動しています。駅前や街中などで、お見かけ頂きましたら、お気軽にお声掛けください！

休止していた西埼玉中央病院の NICU(新生児集中治療室) が再開！

平成 24 年の 10 月から休止されていた西埼玉中央病院の NICU(新生児集中治療室) が再開となりました。NICU が休止している間、市民の皆さんから、また若い世代や妊婦さん、子育て世代のママさん達から動揺や不安の声が聞こえていました。この休止期間の 6 年近くの間には、政治・行政から様々な粘り強い要望活動が続けられた結果、国立病院機構や医療関係の協力も得られ、今夏から部分的ではありますが、西埼玉中央病院の NICU が再開となりました。今後きちんと医療体制を維持・拡大していくことが重要です。石原たかしからは、所沢市の医療行政に対し、NICU の維持・拡大に向けた協力・連携体制について、今議会の一般質問にて要望しました。(NICU の問題に県議会で長年取り組んで頂いた岡田しずか埼玉県議会議員に感謝いたします。)



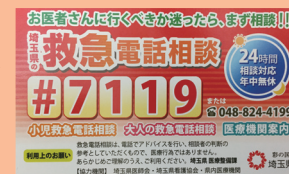
一般質問にて、今後の NICU(新生児集中治療室) の維持と安心して出産できる環境 (周産期医療体制) の整備について要望いたしました！

- ・再開できた NICU を「維持」できるよう所沢市からの支援また関係の医療行政との連携を！
- ・全国的な産科医・小児科医不足の中、所沢医療圏の医師確保へ対策を！
- ・「適正受診の呼びかけ」で小児救急医療のパンクの防止を！

西埼玉中央病院の NICU を今後きちんと維持することはもちろんですが、休止前の規模への再開をめざして参ります。また少子化の時代こそ、安心できる出産環境、子育て環境を整える社会的整備の必要があると考えます。

緊急電話相談ダイヤルの # 7119 を活用ください！

緊急性の高い医療の受け入れを維持していくためには、救急車の適正利用を含め、医療機関の適正受診を守ることが課題とされています。「救急車を頼るべき緊急の症状か」「どのような医療機関に行ったら良いのか」また、「自宅で行うべき応急処置の方法は」などの赤ちゃんからお年寄りまで多種多様な相談に、看護師や専門家が 365 日・24 時間体制で対応しています。急病でどうしても良いかわからない、周りに相談できる人がいないなど心配な時は、埼玉県が開設しているダイヤル「# 7119」へおかけ下さい。



石原たかしのきちん！と一般質問



空き家問題はどれだけ解決が進んだ！？

以前から空き家問題対策の一般質問をしてきましたが、依然として対策が急がれるテーマです。管理のされていない空き家は、防犯上の影響だけではなく、台風や地震などの災害時には倒壊する危険があるなど、地域の方から心配の声も多く聞きます。

昨年から取り組みが始まった「所沢空き家利活用ワンストップ相談事業」効果の検証と分析が必要と考えます。また、空き家を「処分」するという観点から、他の都市からの人口流入や定住促進に活用するなど、地域にメリットがあるよう「利活用」していくという発想が必要であると訴えました！

石原
たかしの
主張

- ・危険な空き家の分布の集計や、空き家の解体・処分への共通課題の分析を！
- ・空き家の「処分」からさらに一歩進め、人口誘致など地域に根ざした「利活用」を！
- ・空き家だけでなく、空き店舗も散見されるため、同様に対策を！



【行政からの答弁】

危険な空き家の解体・処分など解決した件数も増えてきているため、今後は課題の分析なども考えたい。空き家を活用した人口流入対策など、民間と連携して進めたい。また、空き店舗については、商業政策と連携し、活用できる方法を模索して参りたい。

東京オリンピック・パラリンピック、所沢のイベントは！？

東京オリンピック・パラリンピックが開催される 2020 年に向けて全国規模で自治体が様々な取り組みをしている中で、所沢市は、イタリア選手団のキャンプ地に選ばれたり、ゴールボールの強化拠点に選ばれるなどしています。またスポーツに限らず、文化交流など関連イベントも期待されています。今回の質問では、聖火リレーの実現へ向けた取り組みと、市民参加型の機運を高めていくイベントの機会を作っていくよう要望しました！

石原
たかしの
主張

- ・東京五輪の聖火リレー埼玉コースの所沢市の選定へ向けた積極的 PR を！
- ・聖火リレーが実現した際には、市民参加や所沢のオリジナリティを取り入れたリレーを！



【石原たかしより今後に向けて】

所沢市民が参加して盛り上げる行事や、子どもたちへのスポーツ教育と連携するなど、このまたとない貴重な機会を積極的に活かしていけるよう提案してまいります！

若者のアイデアや意欲を活かした経済活性化を！

全国の自治体においても、経済活性化を地方創生として取り組んでいる所ですが、大型の企業誘致だけでなく、中小企業の創業の支援というところに力を入れることも必要です。所沢市内の事業所数を見ると、10 年ほど前から、主要産業分野の事業所数は軒並み減少し続けています。

中小企業の創業が進めば、地域経済・地域社会に根差していくことが期待されます。石原たかしが信用金庫に勤めていた時代から、取り組んでいた課題です。

また、近年においては 20 代、30 代のような若い世代も果敢に起業（創業）をしたいという方も多く、若い世代にそうした機会を作っていくことも大切だと考え、提案しました！

石原
たかしの
主張

- ・減少していく商店街など、各地域に密着した課題解決型の経済政策を！
- ・若い起業家や実業家と地域金融機関、地元企業とのマッチング支援策を！
- ・空き店舗をシェアオフィスとして整備し、創業したい起業家の誘致を！



【石原たかしより今後に向けて】

所沢市の税収向上や市民サービス向上には、経済活性化による税収アップが不可欠です。また所沢市内での雇用創出が進めば、職住近接（職場と住まいが近い環境）が整うメリットもあります。中長期的な経済政策にも取り組んでまいります！

9 月 10 月議会の重要審議事項

墓地計画は中止、森林保全のため公有地へ

狭山湖近く、三ヶ島二丁目に墓地計画のあった森林を公有地として保存することが決まりました。所沢市緑の基金を充当します。市議会での審議を経て、公有地化の予算を議決しました。墓地計画地が里山保全地域に隣接していたことから注目されましたが、所沢の緑ゆたかな自然を次の世代に伝えることは大切です。この問題については、所沢自治連合会（自治会・町内会）による緑地保全の署名活動もあった中、多くの方の理解を得られる結果となったと感じます。行政の交渉と関係者の歩み寄りに感謝します。



計画地に近い狭山湖

10 年に一度の総合計画、継続審議へ

「総合計画」とは、自治体における全ての計画の基本となる最上位の計画のことです。今回の計画の審査では特別委員会を設置し、2019 年以降の 10 年間の所沢市政の方向性を審査しています。石原たかしとしても、少子高齢化時代の地域包括ケアシステムの実践や 2020 年以降の経済状況を予測した地域活性化策などを主張し、活発な審査が繰り広げられていました。しかしながら、より深い審査を行うため、今議会中には採決にいたらず、異例ではありますが、12 月の議会へ継続して審議することとなりました。



所沢の地方創生！地産地消の特産物マルシェが誕生予定です！

旧コンポストセンター跡地（約 8200 平方メートル、所沢市松郷・東川沿い）への建設、維持管理に民間の資金を活用する方針（PFI 手法）です。

都市近郊農業などの所沢の特産物を市内の消費者に提供することはもちろんですが、今後、株式会社 KADOKAWA が建設予定の文化モール、「ところざわサクラタウン」に会場した国内外からの観光客などをターゲットに、所沢市のブランドを PR する発信拠点とし、地域経済を活性化します。



計画のイメージ図

地域公共交通や、「ところバス」についての可能性を考えています

今年、10 月 1 日から「ところバス」の新たな運航路線、時刻表が改正となりました。今回の大きな改正ポイントは、所沢市の「ところバス」が新たに東村山市の交通不便地域の一部を通行するようになった点です。また、今回の 9 月、10 月議会では高齢化対策への要望として『高齢者の移動手段の保障のために所沢市の施策を充実して下さい』と題する請願が議会へ提出され、総務経済委員会にて趣旨採択されました。

さらに、第 6 次総合計画特別委員会での交通対策についての議論の際には、石原たかしからも、「交通不便地域」のみならず、交通空白地域のために他自治体のバスとの待ち合わせ・時刻合わせや、相互直通乗り入れなどの自治体同士が連携し将来を見据えた対策が必要であると主張しました。今後は、高齢の方（免許を返納した場合や病院への通院など）や小さな子供連れの方のための公共交通整備として、デマンド交通など新たな交通手段の可能性なども研究し、提案してい

